



知事コラム

塙保己一賞

「^{はなわ ぼ せい いち}塙保己一」と「^{ぐんしょるいじゅう}群書類従」。高校時代の試験で、内容は分からずとも難しい「読み名」が印象的で、記憶に残っている方も少なくないと思います。実は、塙保己一こそは埼玉県が、いや日本が誇る偉人と言える先人です。

江戸時代後期、旧児玉町（現本庄市）に生まれ、7歳で光を失い、江戸に出て、あん摩を生業としながら学問を究め、10万石の大名格とも言われた「^{さうけんこう}総検校」にまでなられた方です。

当時、全国に散逸していたさまざまな文献、資料を分野別にまとめ、666冊に及ぶ大文献集『群書類従』を編さんするという偉業を成し遂げています。

江戸後期に小笠原諸島の領有権を巡って諸外国の間で主張がぶつかり合った時、塙保己一が設立した和学講談所に収集されていた資料

が根拠となっており、日本への帰属が決まったのです。

また、世界的な偉人として知られるヘレン・ケラー女史も、二度にわたって塙保己一ゆかりの地を訪ねられたほど、塙保己一を人生の師として尊敬していました。

埼玉県では、この知る人ぞ知る偉人である塙保己一の精神を受け継ぎ、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をされている方や、障害のある方のために大きな貢献をされている方または企業・団体を表彰しています。

昨年12月に10回目の表彰式を行いました。全国18都府県から71件の応募をいただき、大賞、奨励賞、貢献賞および第10回特別賞を贈りました。



毎年、全国の素晴らしい方々が表彰されています。表彰された方々の自らの人生を集約した短いスピーチにはいつも感動、感動です。

埼玉県知事 上田 清司